



株式会社 **シー**
(東証プライム：6850)

2025年3月期 第2四半期
会社・決算説明資料

目次

》 1. チノーグループの概要	P 2
》 2. 事業の概要	P 9
》 3. チノーの強み	P16
》 4. ソリューション事例	P21
》 5. 決算概要	P34
》 6. 今後の取組み	P43
》 7. トピックス	P50
》 8. 株主還元等	P54
》 Appendix	P61

》 1. チノーグループの概要

CHINO



会社概要

会 社 名	株式会社チノー CHINO CORPORATION
本 社	東京都板橋区熊野町32-8
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 豊田三喜男
事 業 内 容	計測制御機器の製造・販売、計装工事
会 社 設 立	1936年8月1日
株 式	東京証券取引所 プライム市場
従 業 員 数	連結：1,095名 単体：692名（2024年3月末現在）
グ ル ー プ 会 社	12社（国内 6社、海外 6社）

当社の生産拠点・販売拠点

生産拠点（3拠点）

藤岡事業所



記録計、調節計、サイリスタレギュレータなどの計測制御機器、計装システム、水分・厚さ計の開発生産

久喜事業所



放射温度計、温度・湿度など各種センサの開発生産

山形事業所



熱画像センサ、ハンディロガー、無線温湿度ロガー、酸素計、CO2モニタの開発生産

販売拠点 （3支店<16営業所>）

東日本支店
大阪支店
名古屋支店

（8営業所・1出張所）
（5営業所・1分室）
（3営業所）

国内グループ会社（6社）

株式会社チノーソフテックス



ソフトウェア等の
制作販売

アーズ株式会社



センサネットワーク製品開発、
販売、各種IP開発

株式会社浅川レンズ製作所



光学機器の設計、製作
ならびに販売

アドバンス理工株式会社



熱分析・熱物性測定機器、
赤外線加熱関連機器等の
製造販売

三基計装株式会社



産業用最適空気環境装置、
植物工場製作と電気計装
工事

明陽電機株式会社



船舶エンジン用温度センサ、
各種船舶搭載機器の製造販売

海外グループ会社（6社）

当社はグローバル展開を最重要課題の一つとして取り組んでいます。
顧客密着で現地ニーズに基づく製品を開発・生産して販売する“地産地消”を
推進しています。

海外拠点数

6 拠点
(5か国)

千野測控設備（昆山）有限公司



計装システム、計測制御機器の
製造販売

韓国チノー株式会社



計測制御機器、放射温度計、
計装システムの製造販売

CHINO Works America Inc.



計測制御機器、
センサ等の販売

上海大華－千野儀表有限公司

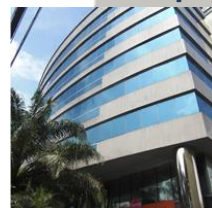
計測制御機器、
センサ等の販売

CHINO Corporation India Private Limited



計測制御機器、
センサ等の製造販売

CHINO Corporation (Thailand)Limited



計測制御機器、
センサ等の製造販売

沿革

1913

創業

1936

(株)千野製作所
設立

1962

東証市場第二部
上場

1963

藤岡事業所
竣工

1978

東証市場第一部
へ指定替え

1979

創立50周年を機に
(株)チノーに
社名変更

1986

本社・研究所
新社屋竣工、移転

1990

(株)山形チノー
(現 山形事業所)
設立

1992

藤岡事業所に生物
多様性保全をめざし
ビオトープ開設

2011

創立80周年

2016

明陽電機(株)の
子会社化

2020

東証
プライム市場
へ移行

2022



創業者 千野一雄



千野製作所



チノー本社

企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

創立90周年（2026年）に向けた経営ビジョン



共創

環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に新しい価値を創造します

特長

卓越した技術によるループソリューションでお客様に感動をお届けします

信頼

信頼の“絆”を強め 情熱とチームワークで未来に向かって成長し続けます

》 2. 事業の概要

CHINO



当社グループの事業セグメント

事業セグメント		主な製品
計測制御機器	プラントや工場などの様々な製造現場の基盤を支える記録・制御に必要な記録計、調節計、電力調整器を提供	・ 記録計 ・ 調節計 ・ 電力調整器 ・ ロガー
計装システム	計測・制御・監視技術を活かし、お客様の目的に合わせた計器をコーディネートする計装システムを提供 各種評価試験装置やパッケージソフトを提供	・ 評価試験 ・ 性能耐久試験 ・ 集録監視パッケージシステム
センサ	接触型温度センサ、赤外線技術を応用した放射温度計、熱画像計測装置および湿度センサや成分計を提供	・ 温度 ・ 湿度 ・ 成分水分厚さ計測 ・ 温度校正
その他	修理、サービスを提供	

<計測制御機器>

主な製品 >>

記録計

調節計

電力調整器
(サイリスタレギュレータ)

ロガー

記録計



温度を記録する

調節計



温度を制御する

電力調整器
(サイリスタレギュレータ)



電力を調整する

無線ロガー



温度を計測・管理する

<計装システム>

主な製品

評価試験

性能・耐久試験

集録・監視パッケージシステム

燃料電池 評価試験装置



燃料電池自動車等が効率よく電気を起こしているかを評価する装置

水電解評価装置



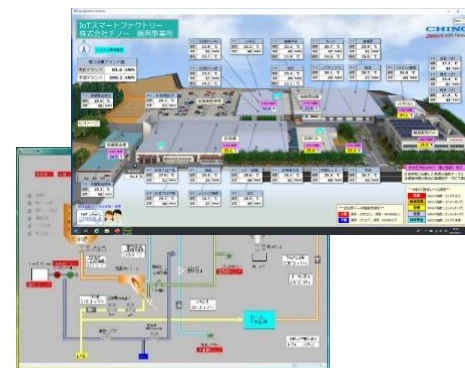
水を水素と酸素に電気分解して、効率よく水素を取り出せるかを評価する装置

コンプレッサ 性能試験装置



エアコン<自動車・家電>のコンプレッサ性能・耐久試験装置

集録・監視パッケージシステム (CISAS 5)



各種装置・設備などのデータをパソコンで集録・監視を行うシステム

<センサ>

主な製品 >>

温度

湿度

成分・水分・厚さ計測

温度校正

高温用シース
熱電対



放射温度計



熱画像計測装置



赤外線多成分計



温度校正装置



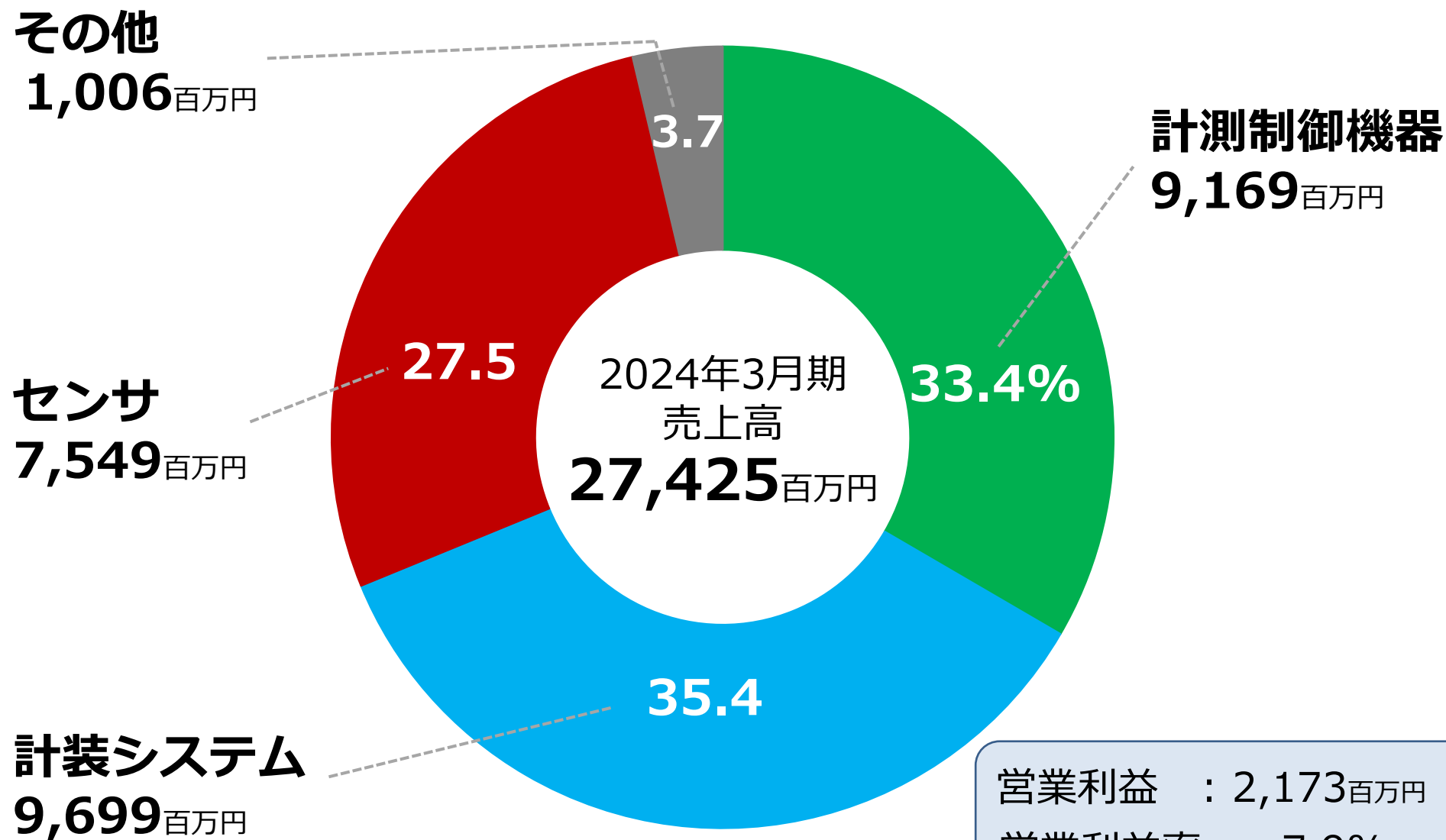
接触形温度センサ

赤外線技術を応用
した**非接触形**温度
センサ

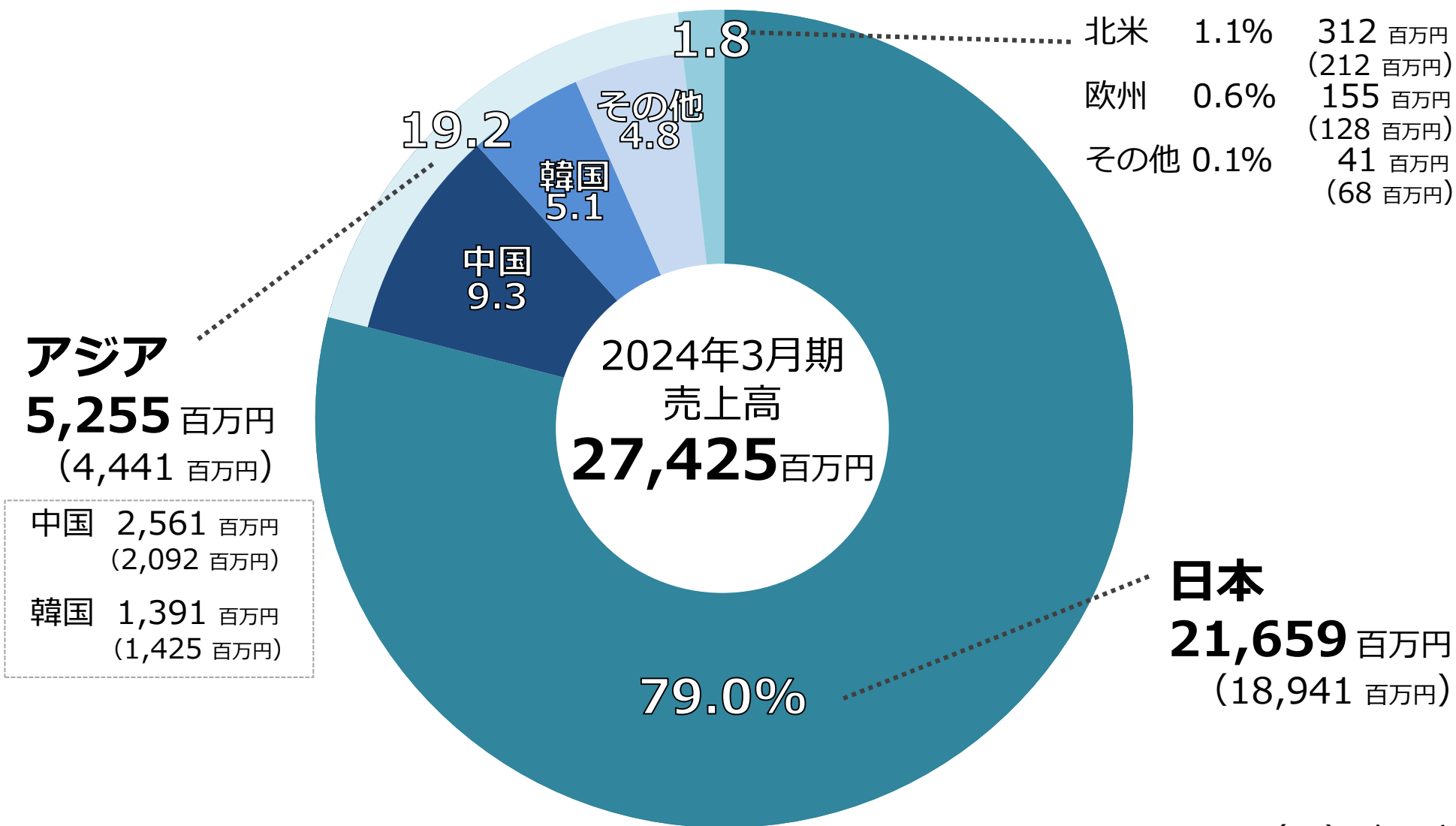
赤外線技術による
計測器<水分・
フィルム厚さ・
塗工厚さ>

温度センサの温度
誤差を点検する装置

セグメント別売上高



地域別売上高



() 内は前期

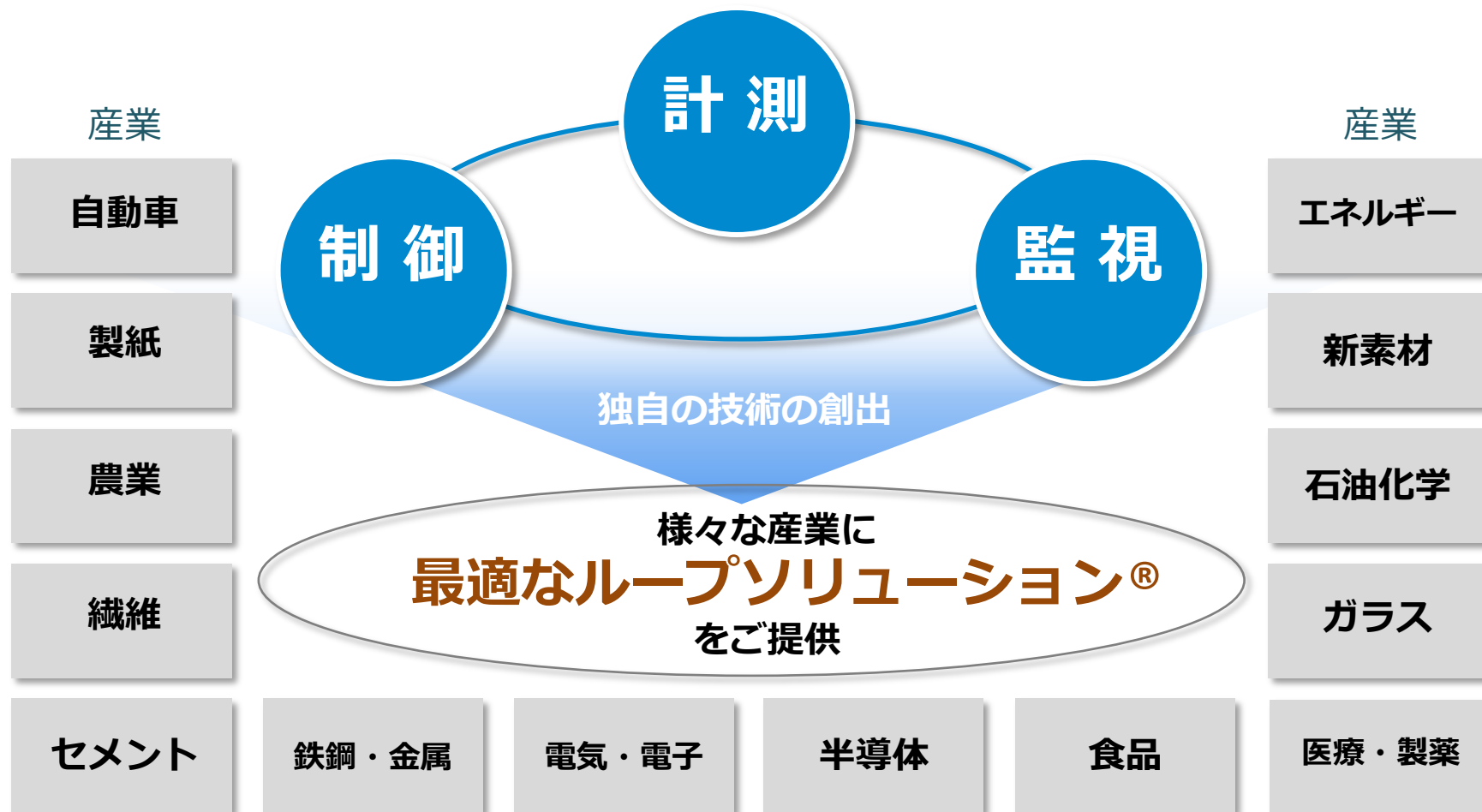
》 3. チノーの強み

CHINO



事業の特長 ループソリューション（※）による顧客価値の創造

「温度のチノー」として、温度を軸として長年培ってきた
①計測の技術 ②制御の技術 ③監視の技術

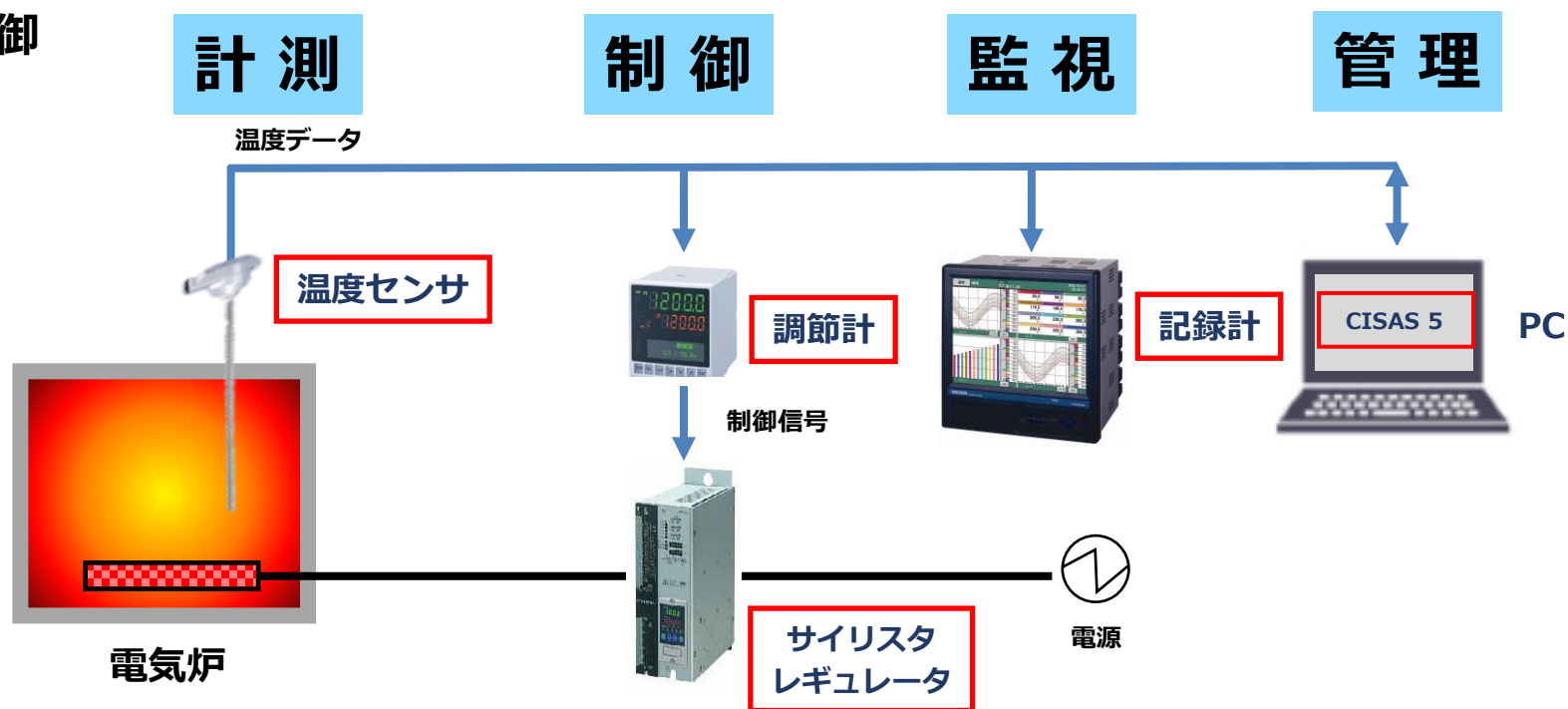


※「ループソリューション」は当社の登録商標です。

ループソリューションとは

お客様の様々なニーズに合わせ、計測・制御・監視の製品を組み合わせた**温度の“ループソリューション®”**を**ワンストップ**で提供しています。
これは**他社にはない当社の特長**になります。

電気炉の温度制御



: 当社製品

校正事業、標準温度センサ（世界29か国で採用）

お客様のセンサや自社生産したセンサの温度の誤差を把握する（校正）事業を行っており当社は国に認められたJCSS（計量法事業者登録制度）の登録事業者として、国際的なトレーサビリティの証明となる証明書を発行することができます。

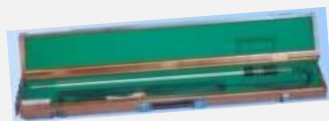
また当社は世界の国家計量機関（世界29か国）に標準温度センサを提供しています。



株式会社チノー標準技術部は、認定基準として ISO/IEC17025 を用い、認定スキームを ISO/IEC17011 に従って運営されている JCSS（計量法校正事業者登録制度）の下で認定されています。JCSS の認定機関である IAJapan は、アジア太平洋認定協力機構（APAC）及び国際試験所認定協力機構（ILAC）の相互承認に署名しています。0024は当社標準技術部の登録番号です。

標準温度センサ

（「温度誤差把握の基準」となる温度センサ）



標準白金測温抵抗体／熱電対



標準用放射温度計

国家計量機関納入実績



当社の強み

温度ループソリューション

お客様のニーズに最適な
温度ループソリューション
(計測・制御・監視の一元管理)
をワンストップ提供

世界29か国で 標準温度センサ として採用

世界の国家計量機関に標準温度センサを
提供し、**温度標準分野**で大きな評価

脱炭素社会 実現に貢献

「燃料電池（水素を使う）」
「水電解（水素を作る）」の
研究開発用の試験装置を提供し、
社会のサステナビリティに貢献

極低温から超高温 までの温度測定

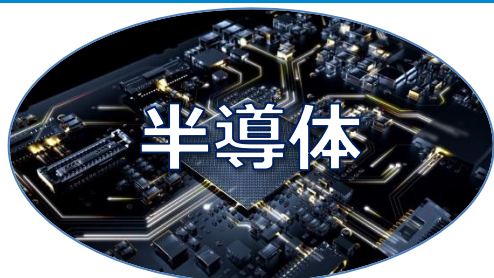
−269℃～3,500℃の温度計測
※放射温度計トップメーカー（赤外線技術）

》 4. ソリューション事例

CHINO



産業別ソリューション



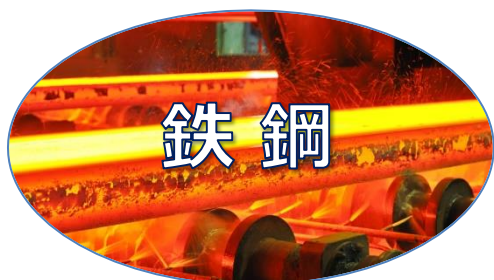
製造プロセスにおける高温・高速
の温度計測・制御



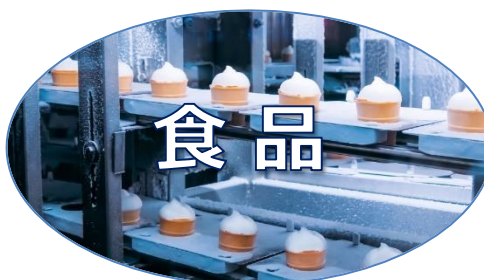
医薬品保管庫の温度計測・監視



太陽電池製造プロセスの温度管理、
燃料電池性能評価装置の提供



赤外線を利用した温度計測・監視



各プロセス（製造～流通）の温度
計測・記録



新素材（航空機等）の加工における
温度計測・制御



部品製造工程の温度管理、コンプレッサ
性能評価装置の提供

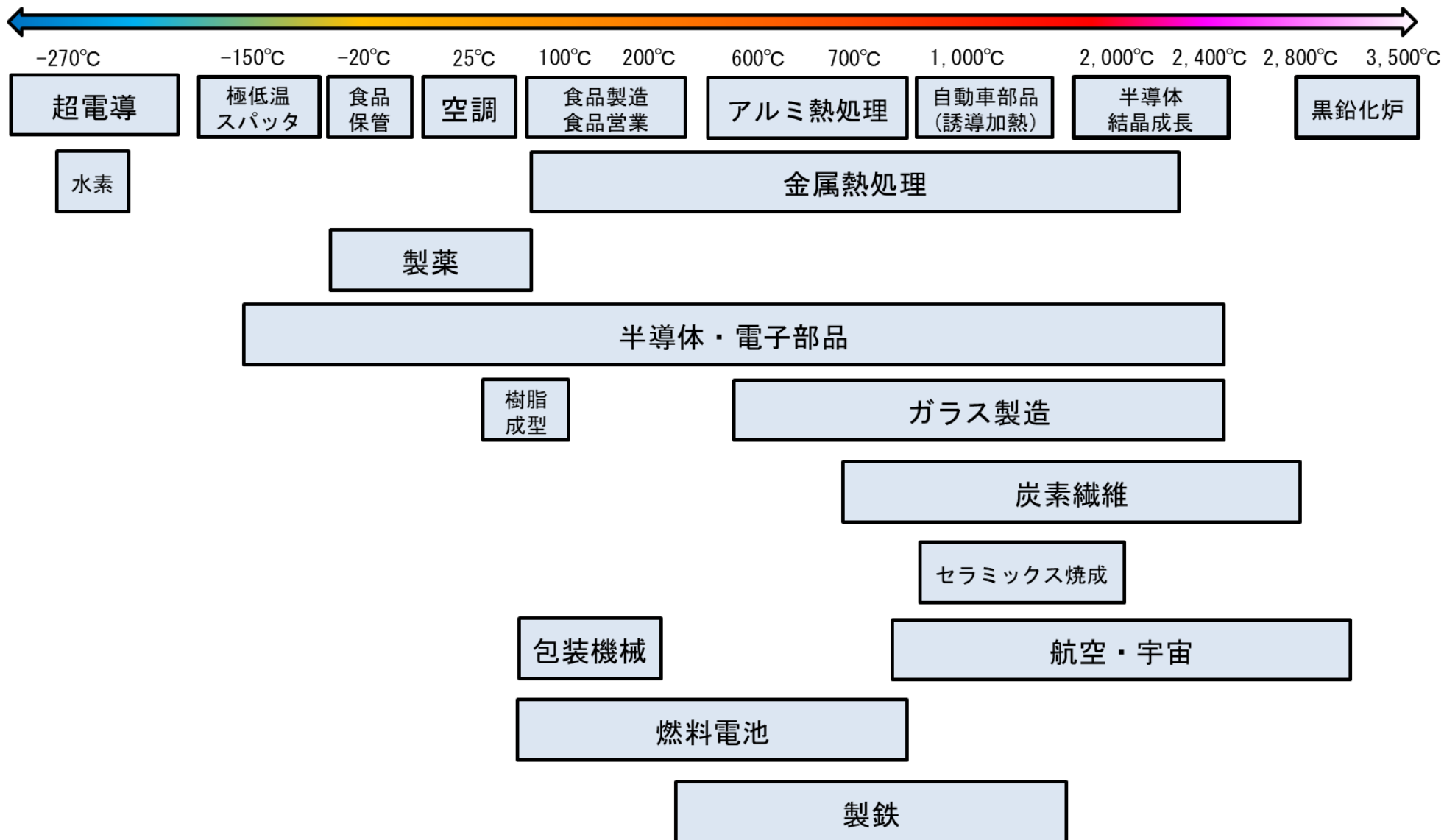


園芸施設の温湿度の計測・可視化



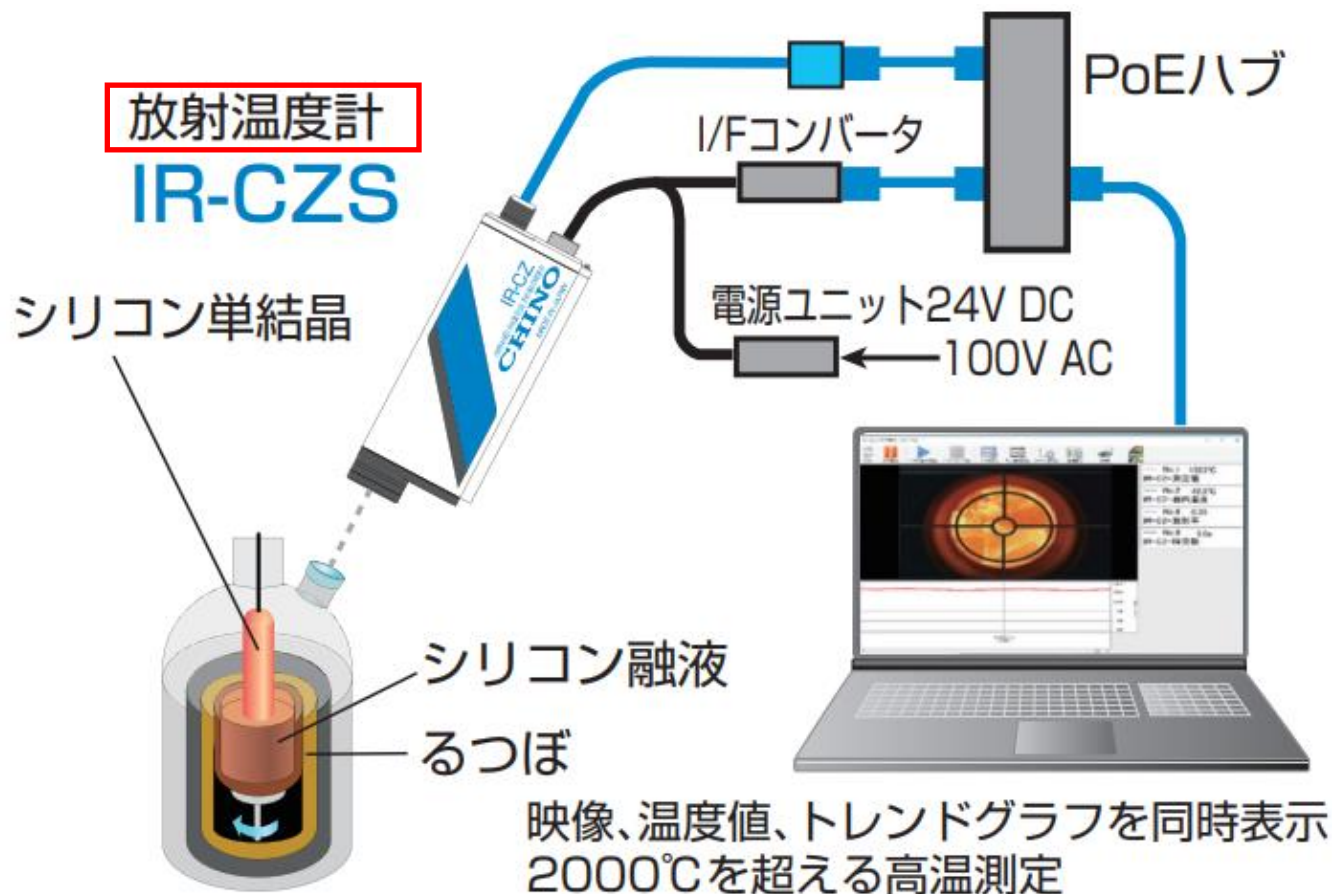
製造ラインにおける温度計測

温度帯別ソリューション



半導体関連（製造プロセスの温度管理）

厳密な温度制御を要する半導体製造プロセス（シリコン単結晶引上げ時の温度計測）において当社の「計測・制御・監視」技術が貢献しています。



 : 当社製品

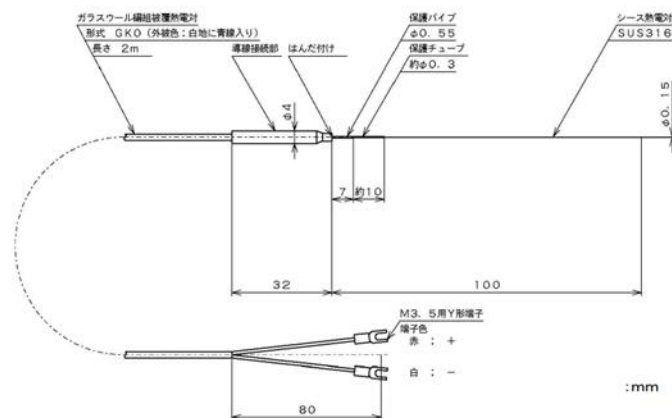
※パワー半導体SIC結晶成長炉（昇華炉）でも放射温度計を上記同様のスキームで使用。

電子部品関連（AEC規格の信頼性適合試験）

極細シーース熱電対の「高速な応答性・小さな熱容量」を生かし、高精度の表面温度測定が可能です。



高速応答と小熱容量で微細品の温度測定に最適

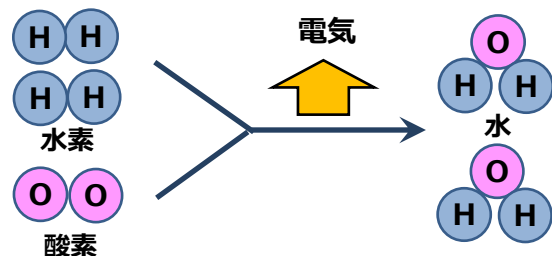


水素関連①（水素を「使う」）

水素を「使う」システムの評価装置を提供しています。

- ・ 燃料電池自動車等が効率よく電気を起こしているかを評価する装置
- ・ 1995年から顧客の研究開発用に販売し、**30年近いノウハウの蓄積がある**
(業界標準の地位を確保)

水素を「使う」：燃料電池



燃料電池評価試験装置

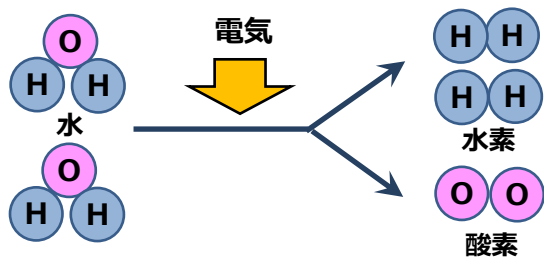
 : 当社製品

水素関連②（水素を「作る」）

水素を「作る」システムの評価装置を提供しています。

水を水素と酸素に電気分解して、
効率よく水素を取り出せるかを
評価する装置

水素を「作る」：水の電気分解



水電解評価装置

 : 当社製品

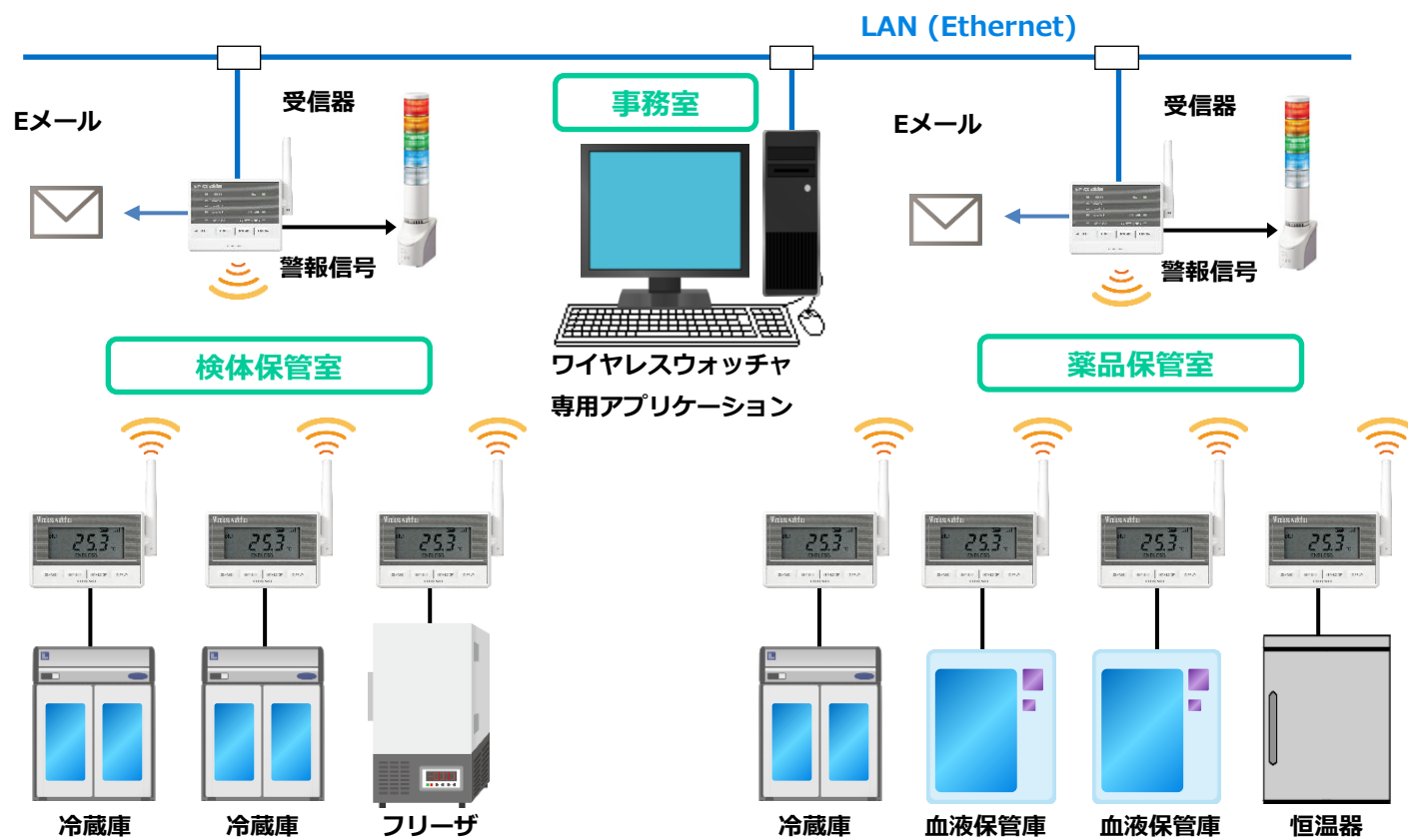
<参考動画>

https://youtu.be/MQXbivAaLfI?si=ztg_DRE6jdsZ6PpC



医薬品関連（血液保管庫の温度監視）

血液センター内の広範囲に点在する血液保管庫等の温度監視、データ保管を行い、**血液／血液製剤の安全保管**に貢献しています。



無線口ガー

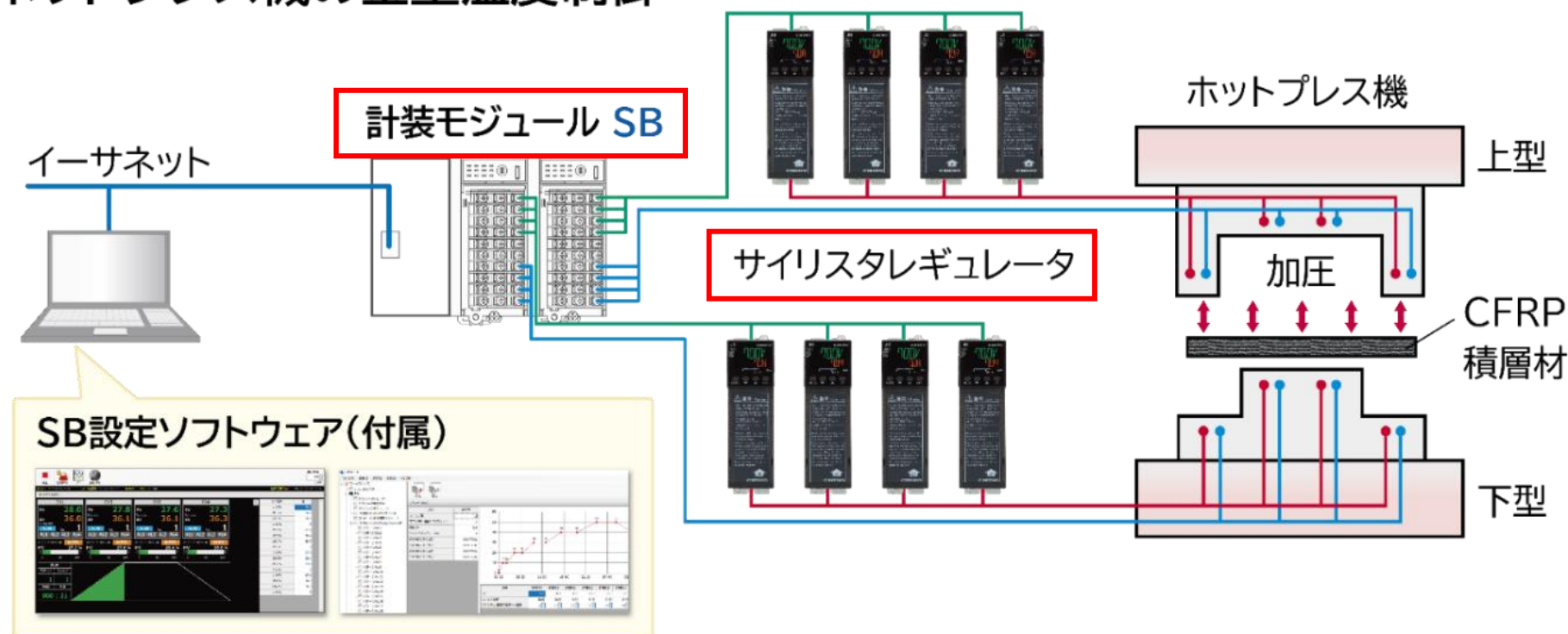


 : 当社製品

新素材関連（CFRP成形）

ホットプレス機の金型（CFRP成形時）の計測制御に調節計、システムが貢献しています。

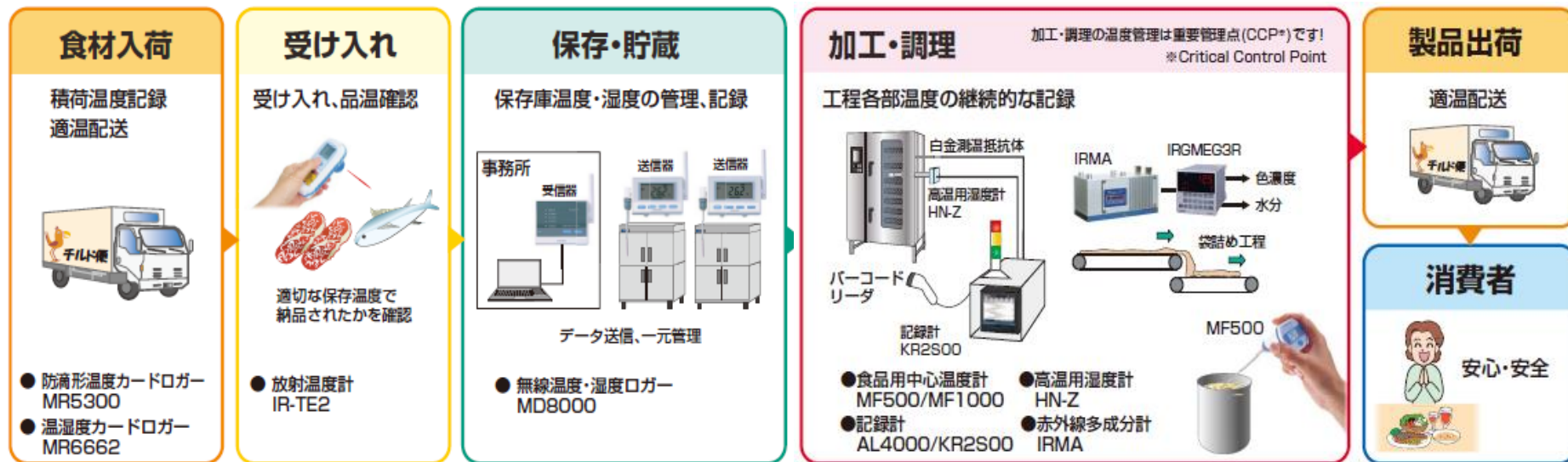
ホットプレス機の金型温度制御



 : 当社製品

食品関連（HACCP＜ハサップ＞への対応）

HACCP（食品の原材料から最終製品までの各工程ごとに監視・記録する工程管理・衛生管理の手法） **への対応**で当社の「計測・監視」技術が貢献しています。



環境関連（エアコンの自然冷媒対応）

環境負荷（地球温暖化への影響）が少ない自然冷媒（二酸化炭素等）に対応した**空調用コンプレッサ性能試験装置**を提供しています。

<冷媒（※）の方向性>

※熱を移動させるために用いられる物質

特定フロン

転換

自然冷媒
(二酸化炭素等)

オゾン層破壊効果：有
温室効果：大

オゾン層破壊効果：無
温室効果：小

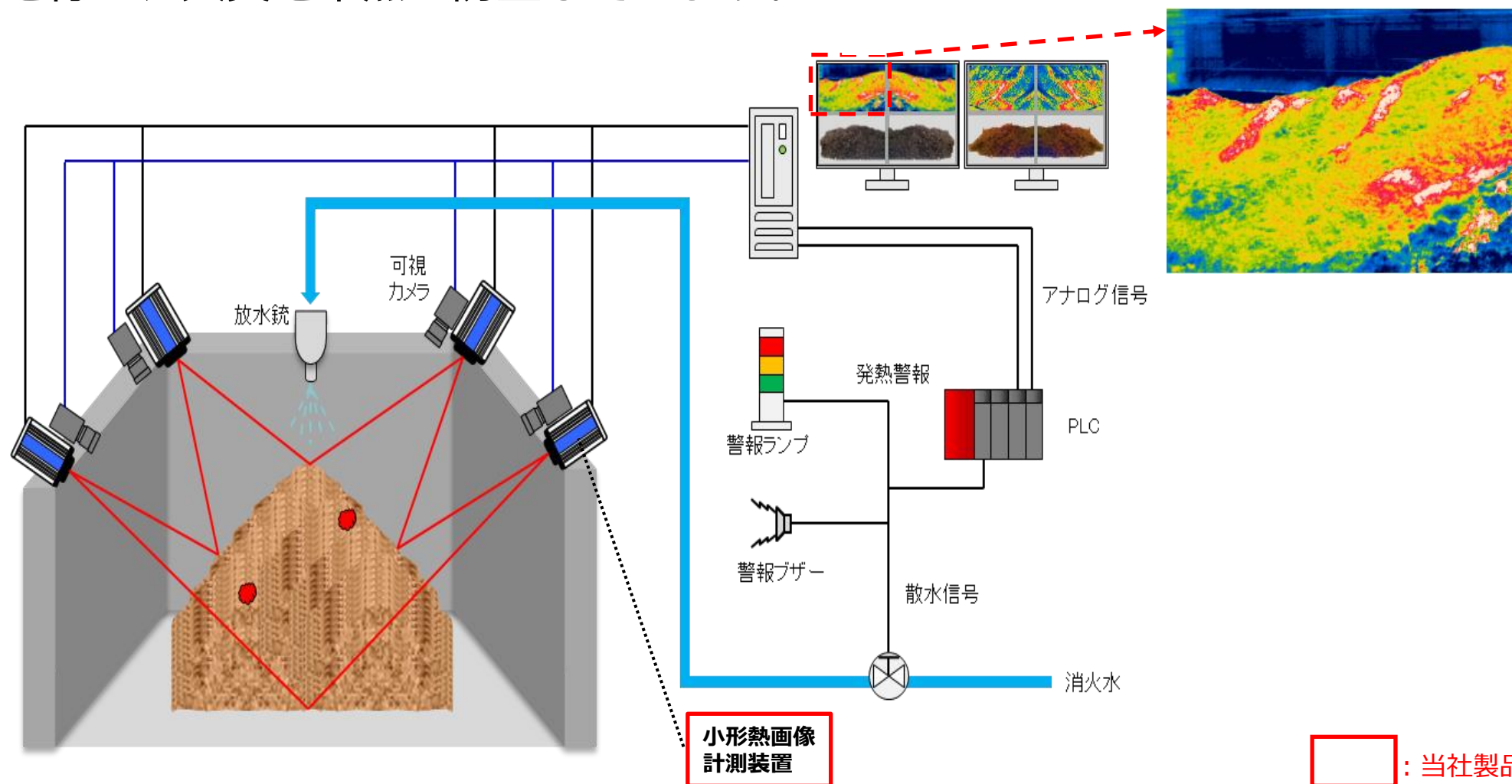


コンプレッサ性能試験装置

：当社製品

再生可能エネルギー関連（バイオマス発電）

バイオマス発電に欠かせない燃料（木質ペレット等）貯蔵庫の温度監視
を行い、火災を未然に防止しています。



: 当社製品

その他のソリューション事例

ソリューション事例は当社のホームページに掲載されています。

※URL : <https://www.chino.co.jp/>



- 半導体
- 電子部品
- 熱処理・鉄鋼
- 自動車
- 航空機
- 脱炭素・エネルギー**
- 化学
- 医薬
- 食品
- IoT
- その他

DECARBONIZATION/ ENERGY

脱炭素・エネルギー

詳しく見る

脱炭素・エネルギー

脱炭素・エネルギーソリューションは、炭素排出を削減または排除しながらエネルギーを供給するための取り組みや技術を描します。
再生可能エネルギー、エネルギー効率の向上、炭素捕捉と貯留、バイオエネルギーなど持続的でカーボンニュートラルな社会の実現の発展に貢献する事例をご紹介します。

プロセス・使用例

- ▶ 脱炭素
 - リチウムイオン電池 電極スラリー
 - 接着剤塗布量計 IRMT03
 - SOEC/SOFC評価用セラミックホルダ
 - 水電解評価試験
 - カーボンニュートラル社会に貢献 電解による鉄リサイクル需要に対応
 - 脱炭素社会実現に貢献！ バイオマスヤード・バイオマス発電施設 発熱・発火監視
 - SOEC・SOFC評価試験装置
 - 改質器対応SOFC評価試験装置

》 5. 決算概要

CHINO



決算ハイライト

2025年3月期 第2四半期 連結業績

受注高



12,926百万円 前年同期比 0.6 %減



売上高



13,166百万円 前年同期比 9.7 %増



- 受注高は、計装システムセグメントの受注タイミングによる影響で前年同期比では減少するも脱炭素関連（燃料電池評価試験装置や水電解評価装置）の需要が継続
- 売上高は、当社顧客の設備投資が堅調に推移し増収

営業利益



1,066百万円 前年同期比 16.7 %増



経常利益



1,143百万円 前年同期比 7.4 %増



中間純利益 （親会社株主に帰属）

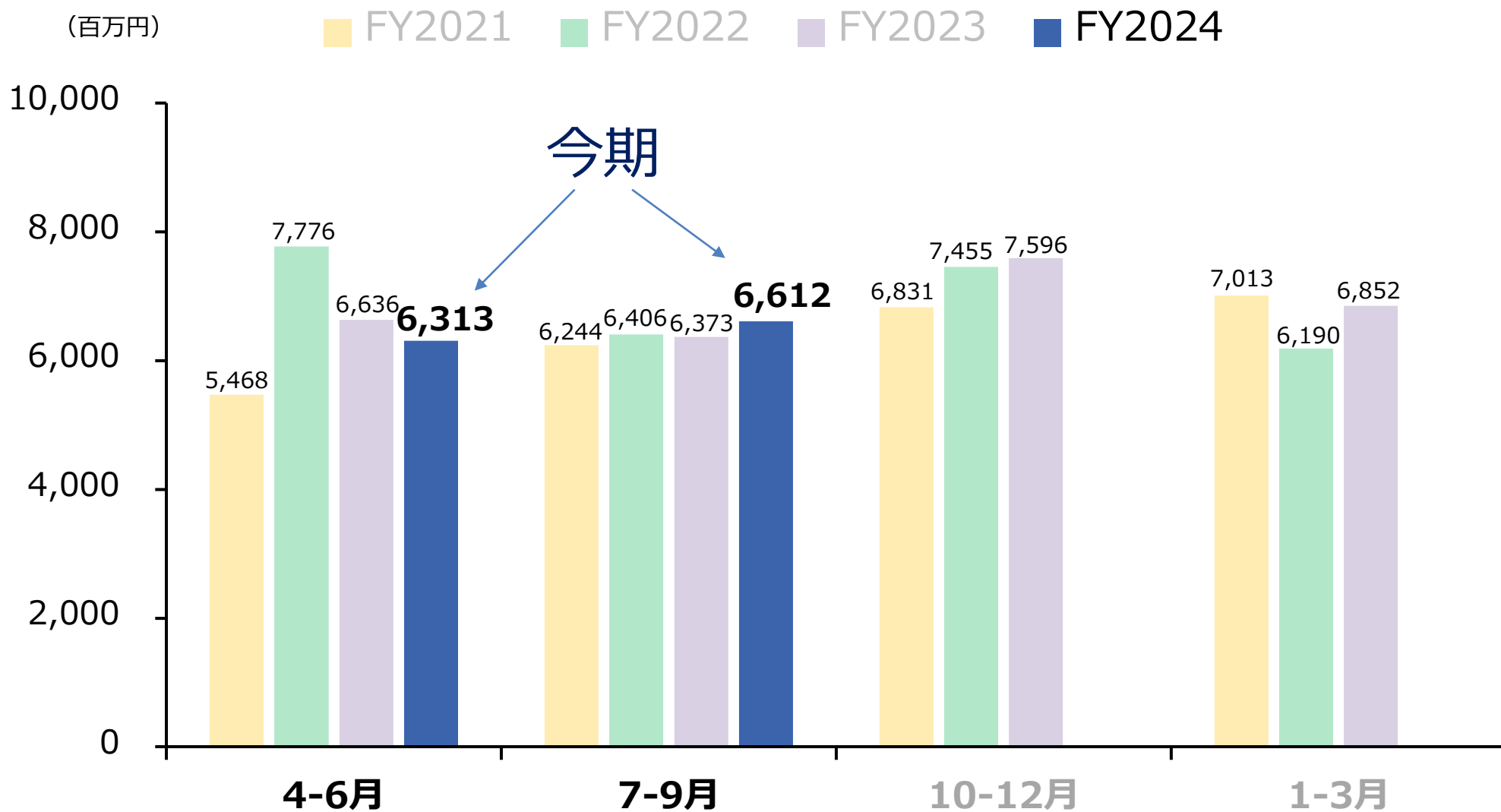


633百万円 前年同期比 2.5 %増

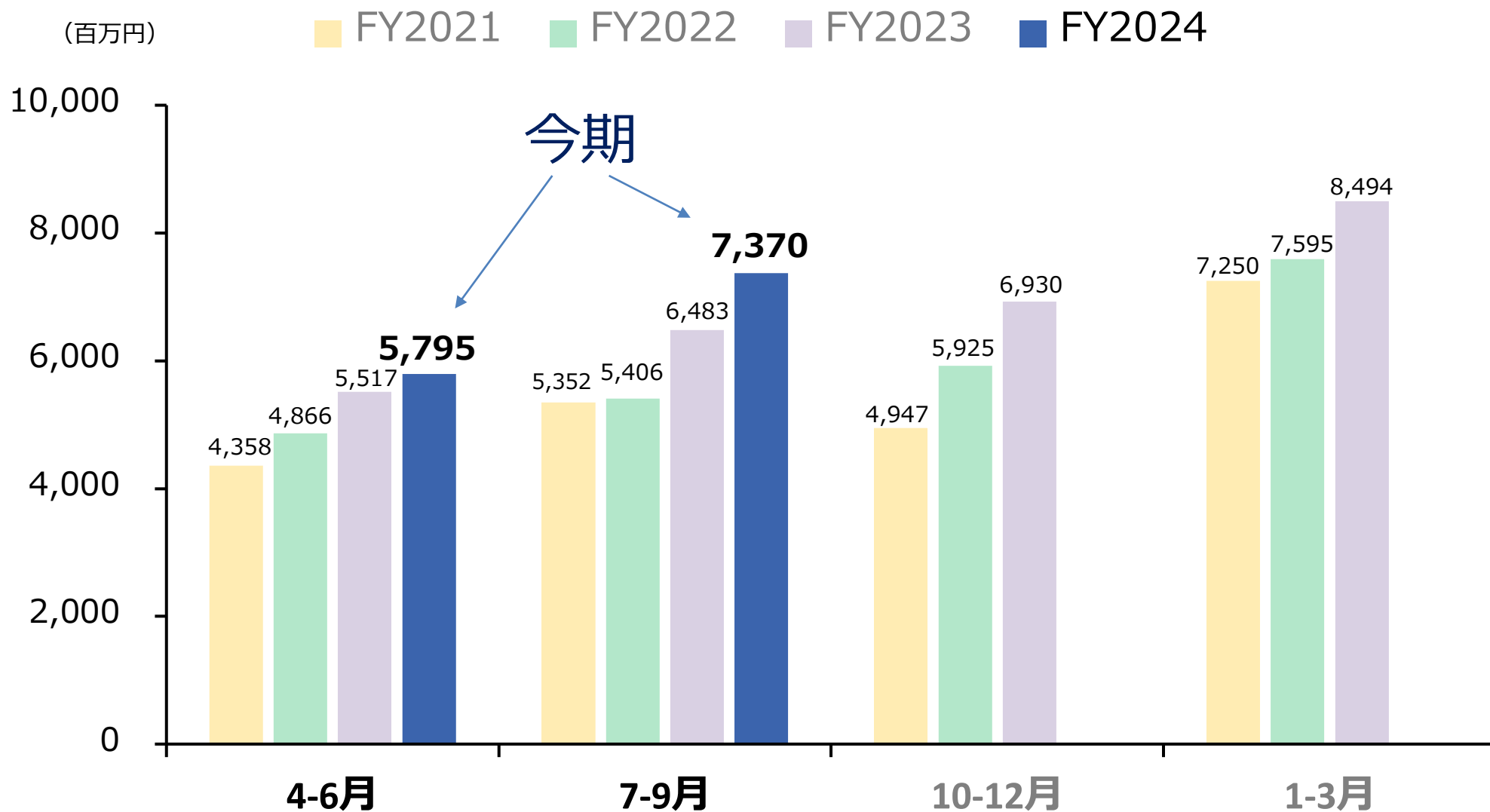


- 利益は、増収効果・継続的な原価低減の取組みに加え、製品価格改定（本年4月実施）の効果が表れ増益

受注高の四半期別推移



売上高の四半期別推移



セグメント別業績

◇セグメント別業績

(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益（営業利益）			
	FY2023 2Q累計	FY2024 2Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2023 2Q累計	FY2024 2Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2023 2Q累計	FY2024 2Q累計	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	4,166	4,390	223	5.4	4,524	4,884	360	8.0	598	714	116	19.5
計装システム	4,774	4,391	▲ 383	▲ 8.0	3,486	3,980	493	14.2	532	574	42	7.9
センサ	3,656	3,712	56	1.5	3,537	3,803	266	7.5	622	658	35	5.7
その他	412	431	19	4.7	452	497	45	10.0	97	100	2	2.6
全社費用									▲ 936	▲ 980	▲ 44	—
合計	13,009	12,926	▲ 83	▲ 0.6	12,000	13,166	1,166	9.7	914	1,066	152	16.7

損益状況

売上高

4,884百万円 前年同期比 8.0%増



セグメント利益

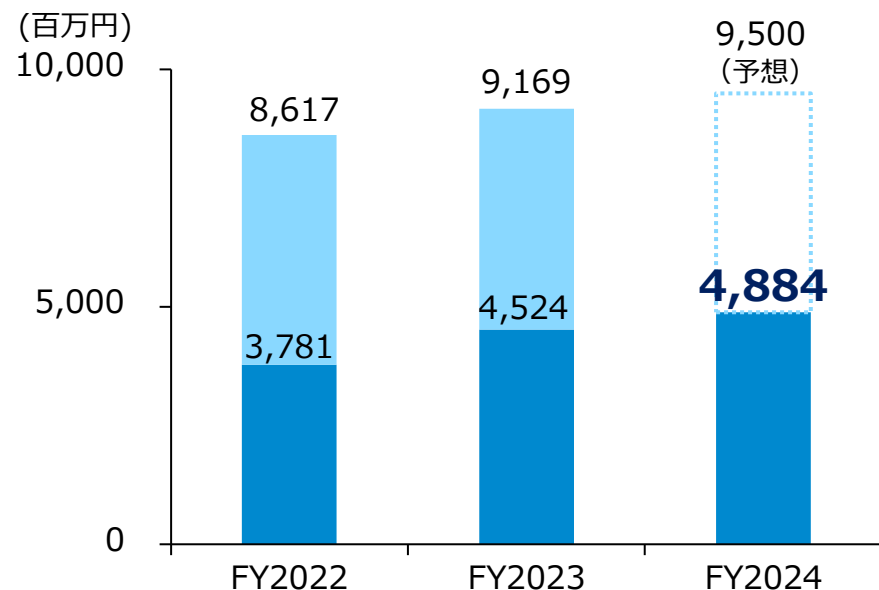
714百万円 前年同期比 19.5%増



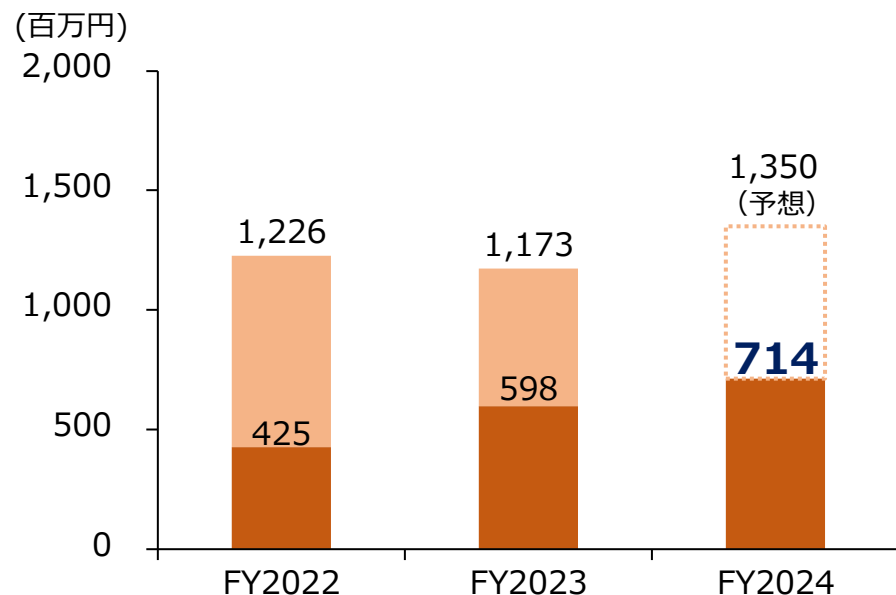
製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 利益は、製品価格改定（本年4月実施）の効果が表れ増益

<売上高>



<セグメント利益>



損益状況

売上高

3,980百万円 前年同期比 14.2%増



セグメント利益

574百万円 前年同期比 7.9%増



製品別状況

- 脱炭素関連で、自動車向けの燃料電池評価試験装置や水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が継続
- 空調用コンプレッサ評価試験装置は、自然冷媒対応機器の需要が増加
- 利益は、増収効果等により増益

<売上高>

(百万円)

10,000

5,000

0

FY2022

FY2023

FY2024

■ 2Q ■ 通期

9,750
(予想)

3,980

<セグメント利益>

(百万円)

2,000

1,500

0

FY2022

FY2023

FY2024

■ 2Q ■ 通期

1,350
(予想)

574

損益状況

売上高



3,803百万円 前年同期比 7.5%増



セグメント利益



658百万円 前年同期比 5.7%増



製品別状況

- 電子部品の製造装置や熱処理加工向けを中心に需要が堅調
- グループ会社・明陽電機(株)（船舶向け温度センサを製造販売）の増収が寄与
- 利益は、増収効果等により増益

<売上高>

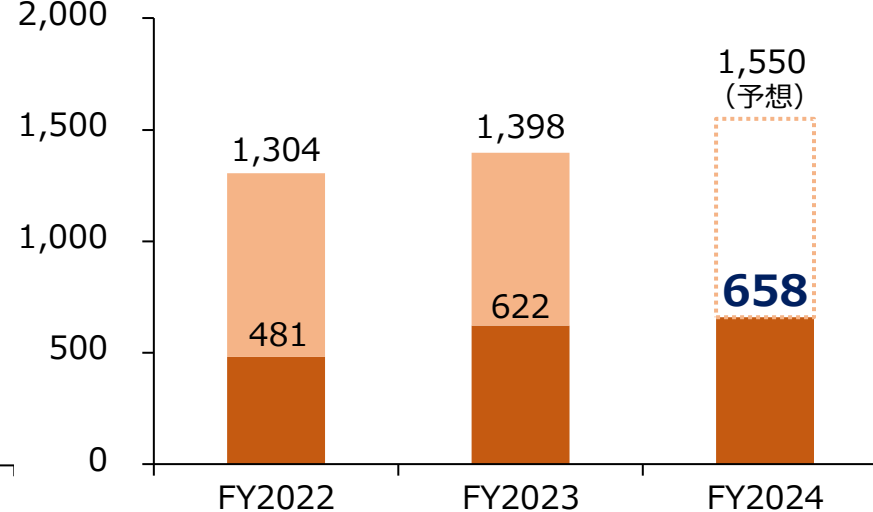
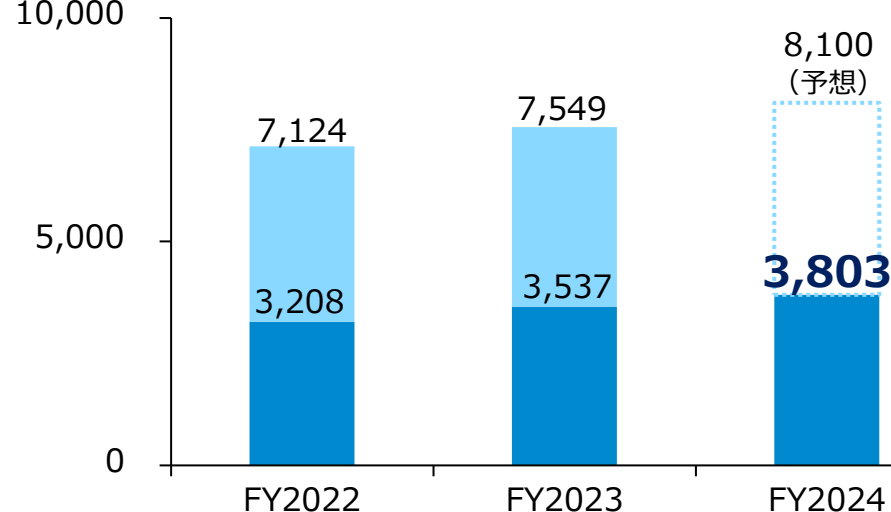
(百万円)
10,000

■ 2Q ■ 通期

<セグメント利益>

(百万円)
2,000

■ 2Q ■ 通期



FY2024の業績予想（2024年5月13日発表から変更なし）

地政学的リスクの高まり、中国経済の低迷、不安定な為替相場等、先行きの不透明感は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野での需要拡大が見込まれ、FY2024の業績予想は前期比増収増益（営業利益・経常利益）としています。

（百万円）

項 目	FY2024 業績予想 (2024年5月13日発表)	FY2023 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	28,500	27,425	1,075	3.9
営業利益	2,450	2,173	277	12.7
経常利益	2,650	2,413	237	9.8
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,610	1,756	※ ▲146	▲8.3

※FY2023に政策保有株式の一部を売却し「特別利益(投資有価証券売却益)」323百万円を計上したため、減益

➤ 6. 今後の取組み

CHINO



政治・経済

●世界の政治・経済の不透明化

ーウクライナ/中東問題、米大統領選、中国経済

●新興国経済の発展による各種需要の拡大

ー食料、エネルギー、インフラ整備

●安全基準・規格の国際標準化

ー自動車、航空機・宇宙、医薬、食品

●「XaaS」モノからサービスへの経済シフト

Volatility (変動性・不安定さ)

Uncertainty (不確実性・不確定さ)

技術(DX)

●デジタル技術の革新とDXの加速

ー5G/AI/ビッグデータ/IoT/ロボティクス/RPA

ー自動車の変容(CASE)/スマート工場化

ーリモートワーク、生産性向上、製品機能

●多様なエネルギー源の高度利用

ー太陽光、風力、バイオマス、地熱等

ー水素利活用/二次電池市場の拡大

Complexity (複雑性)

Ambiguity (曖昧性・不明確さ)

VUCA の加速

環境(GX)

●地球温暖化/気候変動問題の深刻化

ー激甚化する自然災害

ー水資源不足問題/エコシステム破壊

ー世界的な省資源化の進行

●脱炭素社会実現に向けた動きの加速

ー日本の水素基本戦略「15年で15兆円投資」

ー環境配慮型へのビジネスシフト

社会(サステナビリティ SX)

●日本の少子化・高齢化/世界の人口増加

ー国内労働人口減少問題、採用と育成

●企業に対する要請の高度化

ー働き方改革/ダイバーシティ/サステナビリティ

ーコーポレートガバナンス/コンプライアンス

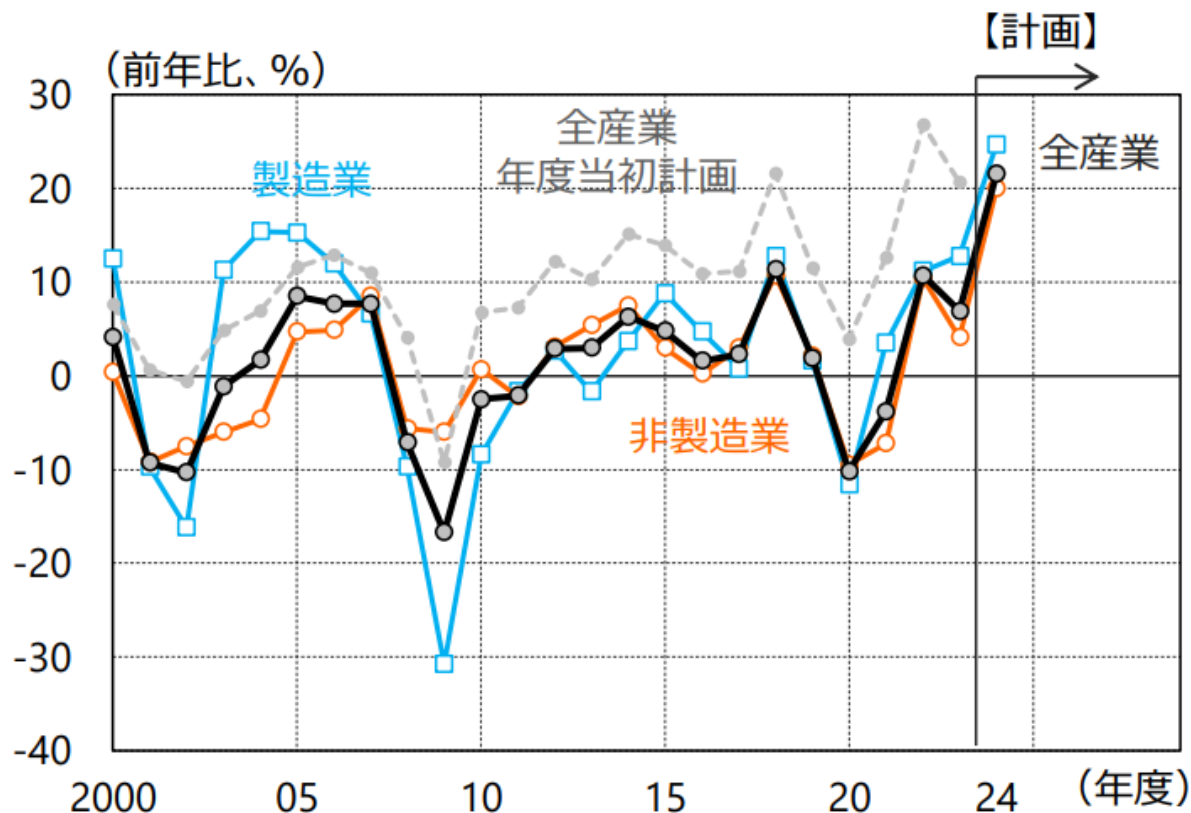
ーリスクマネジメント

2024年度の設備投資の状況

- 2024年度は、全産業（大企業）では前年比21.6%（製造業24.7%、非製造業20.0%）の大幅増の計画。

2023年度見送った投資に加え、デジタル化の加速を受けてEVや半導体関連の能力増強投資が拡大し、製造業・非製造業ともに高い伸びとなる見込み。

国内設備投資の増減率



出所：日本政策投資銀行

2024年度の設備投資の特徴

- 製造業：半導体の製造能力増加（デジタル化の加速）
電池や電磁鋼板への投資拡大（自動車の電動化対応）
- 脱炭素：再エネや省エネ投資が継続

	デジタル化・効率化			脱炭素			人流拡大
	省力化・省人化	半導体	EV	再エネ	省エネ	その他	都市機能高度化
鉄鋼・非鉄		シリコンウエハ	電磁鋼板		高炉・電炉 効率化	電炉	
化学		半導体・同材料の 能力増強	電池			CO2回収・原料化	
電気機械		電子材料	EV関連の 能力増強		パワー 半導体		
輸送用機械		電子部品	電動化開発				
一般・精密機械	自動化対応	半導体製造装置					
通信・情報	AI/データセンター						
電力・ガス				太陽光 風力		再エネ向け 送配電網	
石油						SAF	
卸売・小売	AI発注	EC強化	系統用 蓄電池				
運輸	物流効率化 省力機器・自動化		EVの導入		照明の LED化		人流拡大 に向けた 都市機能 高度化の 継続
不動産					ZEB ZEH		車両
サービス							航空機

物流施設	空港機能
都心再開発	
ホテル	
娯楽施設	

（備考）赤枠は前年度からの変更点、オレンジは相対的に投資規模が大きい内容

水素社会に向けた事業活動

水素社会（カーボンニュートラル2050）に向けて事業活動を行う。

水 素	作る	運ぶ	貯める	使う
キーワード	グリーン・ブルー・グレー水素、人工光合成、液化水素、MCH、アンモニア合成 メタネーション、CCUS、蓄電池、水素・アンモニア燃焼、電動化エネルギー			
技術開発支援	電気・温度 流量・ガス濃度	温度・圧力 ガス濃度	電気・温度 ガス濃度	自動車・航空機 船舶・発電所
	極低温センサ ガス成分計測 触媒物性試験 プラント制御監視	クラウド活用 船用センサ 無線モニタ機器 熱画像設備診断	極低温センサ ガス成分計測 プラント制御監視 熱画像設備診断	蓄電池性能試験 FC性能試験 水素エンジン試験 プロセス用ガスセンサ
センシング技術	既存製品とセンシング技術の組合せによる新たな計測技術の創造			
製品開発	プロジェクト活動に基づく市場・顧客ニーズに対応した製品の開発			

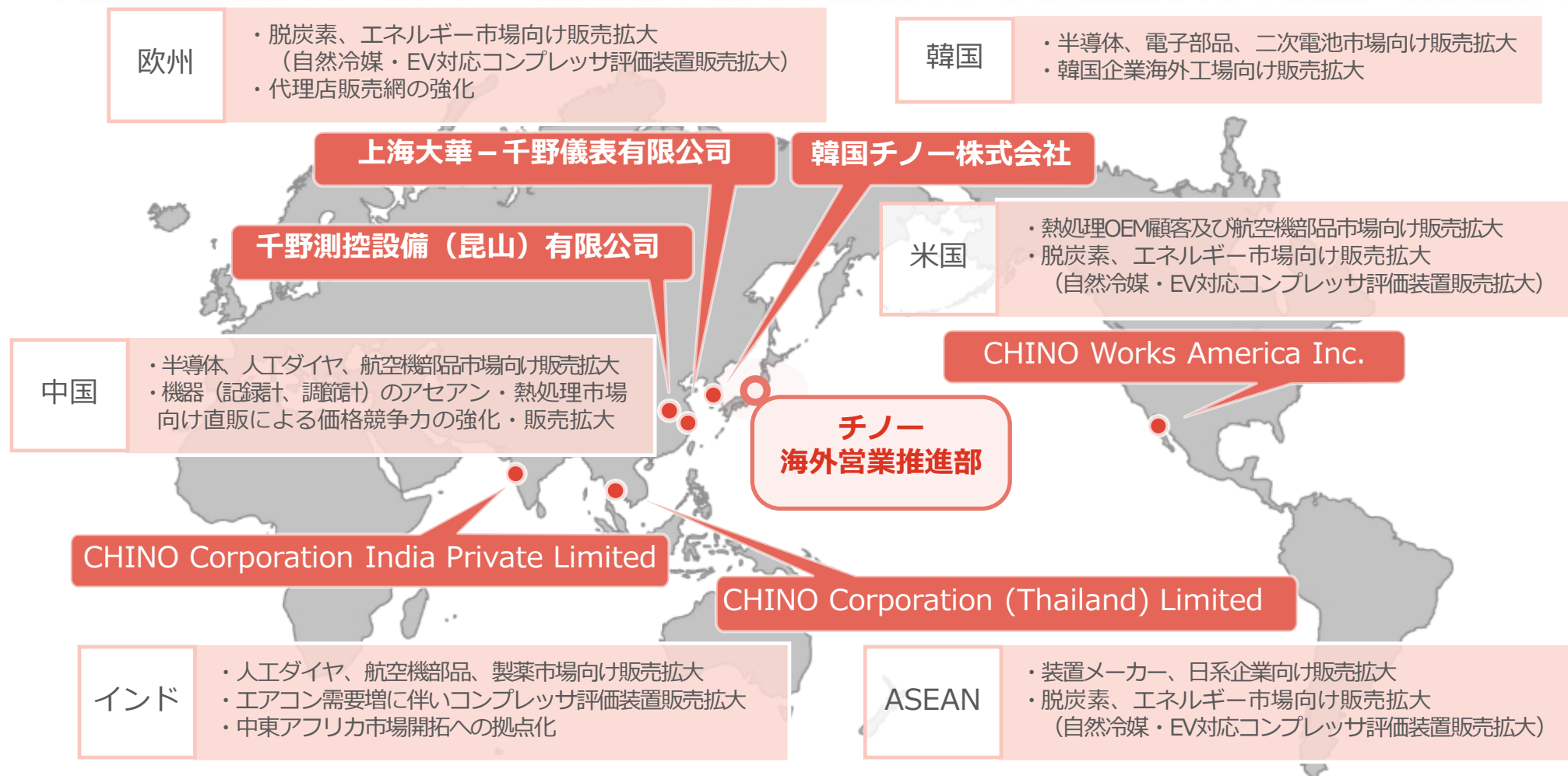
成長市場拡大にむけて

新たな成長分野・市場に向けて**特長あるソリューション**の開発と提供を進めることで競争優位性を発揮し、事業の拡大と社会課題の解決を実現する。



海外戦略（2026年度海外売上70億円に向けて）

複数国市場の限定マーケットニーズに合致したグローバル専用製品で販売拡大
中国生産機器のアセアン・熱処理市場向け直販による価格競争力の強化・販売拡大



》 7. トピックス

CHINO



プライム市場の適合状況等（2024年9月末）

【プライム市場の上場維持基準の適合状況】

- プライム市場の上場基準の内、下記2項目（流通株式時価総額、1日平均売買代金）が2021年6月末時点で未達でしたが、2024年3月末時点に引き続き、2024年9月末時点においても基準をクリアしています。

項 目	プライム市場基準	当社の実績		適合 状況 (2024年 9月末)
		2024年3月末時点	2024年9月末時点	
流通株式時価総額	100億円	156.3億円	151.8億円	○
1日平均売買代金 (※)	20,000千円	48,651千円	52,836千円	○

※ 「1日平均売買代金」
2024年3月末：2023年1月～12月の平均売買代金
2024年9月末：2024年1月～9月の平均売買代金

「チノーレポート2024」を発行

2024年10月に「チノーレポート2024」を発行しました。

本レポートは、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業活動・中長期的な経営の取組みについて深くご理解いただくことを目的として作成した年次報告書です。

本レポートをコミュニケーションツールの一つとして、ステークホルダーの皆様との対話を一層進め、今後とも持続的な企業価値向上に努めてまいります。

<URL> <https://service.chino.co.jp/jp/serv/sustainability/csr-report/>



トップメッセージ



開発/営業 担当役員メッセージ

展示会への出展

顧客コミュニケーション強化の取組みとして積極的に展示会に出展しました。

第26回 インターフェックス ジャパン

医薬品 化粧品 製造展

日程：2024年6月26日～28日

会場：東京ビッグサイト



医薬品・化粧品の研究・
製造に関わる日本最大の
専門技術展

計量計測展 INTERMEASURE 2024

日程：2024年9月18日～20日

会場：東京ビッグサイト



「はかる」をキーワード
に主催者、出展者、来場
者を一体化させることが
主催テーマの展示会

未来のものづくり社会を支える
計測・制御技術の総合展

計測展 2024 OSAKA

日程：2024年10月30日～11月1日

会場：グランキューブ大阪



未来のものづくり社会を
支える計測と制御技術の
総合展

当社ホームページで「オンライン展示会」がご覧いただけます。

URL：<https://service.chino.co.jp/jp/serv/support/exhibition/online-exhibition/>



》 8. 株主還元等

CHINO

- 1) 株主還元
- 2) 株主優待制度
- 3) 株価推移（過去10年間）



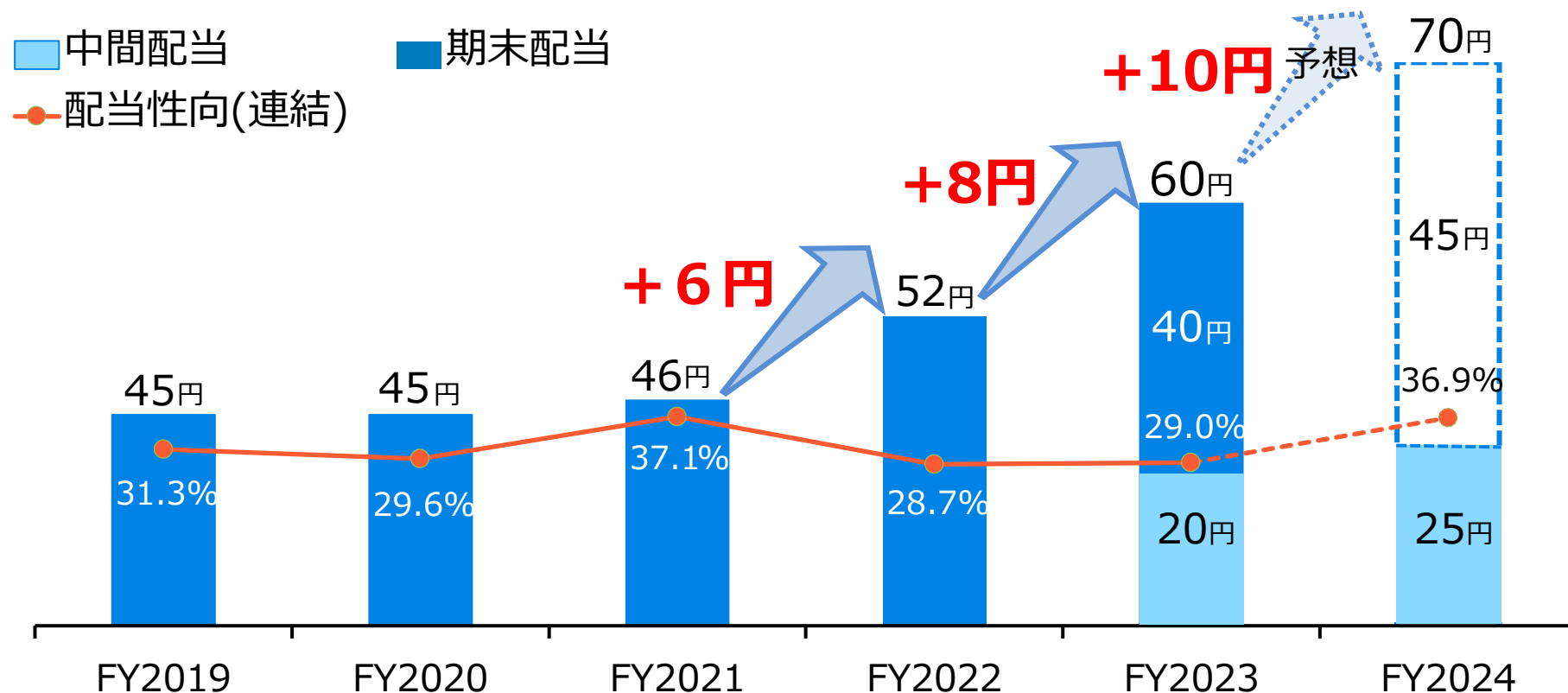
配当方針	
〔 中期経営計画の後半3年間 （2024年度～2026年度） 〕	2026年度の配当性向(連結)を 40%まで引き上げていくこと を目指し持続的な利益成長を 通じ増配を実現

中期経営計画NX26						
	Phase1：成長の基礎固め			Phase2：成長の加速		
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (予想)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)
配当性向(%)	37.1	28.7	29.0	36.9		40

株主還元

(東証プライム：6850)

- FY2024中間配当 : 25円
 - FY2024期末配当 (予想) : 45円
- } 70円 (予想)
(前期比 **10円増配**)



※自社株式取得：2016年12月～2017年5月に120百万円（100,000株）実施
自己株式消却：2017年7月に300,000株実施

【制度の概要】

- 毎年3月末現在の**3単元（300株）以上保有の株主様が対象**となります。
- ポイントは**次年度へ繰り越し可能（1回のみ）**。
- 株主様の保有株式数に応じてポイントが贈呈され（次ページ参照）、ウェブサイト「**チノー・プレミアム優待倶楽部（※）**」において食品、電化製品等5,000種類以上の商品から交換できます。

※URL：<https://chino.premium-yutaiclub.jp/>



松阪牛シャトー
ブリアン

伊勢海老
割烹料理

新潟米食べ比べ
セット

クッキー&
チョコレート

鹿児島黒牛・
米沢牛焼肉御膳

日本酒&梅酒

＜株主優待ポイント表（1ポイント≒1円）＞

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株～399株	4,000	毎年5月
400株～499株	8,000	
500株～599株	15,000	
600株～699株	20,000	
700株～999株	25,000	
1,000株～1,999株	30,000	
2,000株～4,999株	35,000	
5,000株以上	40,000	

株価推移（過去10年間）

（東証プライム：6850）

■ 株価：2,144円

（2024年12月10日終値）

■ 単元株式数：100株

■ 売買最低代金：214,400円

時価総額
（2024年12月10日終値）

198億円

P E R 予想※1

11.31倍

P B R 実績※2

0.88 倍

※1 1株当たり当期純利益（2025年3月期通期業績予想）を用いて算出。

※2 1株当たり純資産（2025年3月期中間期）を用いて算出。

株価：資料作成時点（2024/12/10終値）



出典：Yahoo! Finance

当社ホームページのご案内

CHINO

暑さ指数 (WBGT) 監視! マイページ ダウンロード 展示会情報 お役立ち情報 採用情報 言語

製品/サービス ソリューション サポート情報 お知らせ 企業情報 IR情報 サステナビリティ お問い合わせ

Measure with Passion
温度を極める

チノグループは温度を中心とした
計測・制御・監視を通して、社会の発展に貢献しています

NEWS
お知らせ
一覧を見る

2024.11.14	IR情報	「2025年3月期 第2四半期決算説明資料」を掲載いたしました。
2024.11.13	IR情報	「第89期 半期報告書」を掲載いたしました。
2024.11.12	IR情報	「2025年3月期 第2四半期決算短信」を掲載いたしました。
2024.11.05	セミナー情報	ISO18436-7機械状態監視診断技術書（サーモグラフィ）の赤外線診断技術者訓練コース（カテゴリ1）を開催いたします。
2024.11.01	お知らせ	TSCA(Toxic Substance Control Act)規制における当社の製品について
2024.10.31	CSR情報	チノレポート2024を掲載しました。

当社ではホームページにて企業情報を掲載しています。

当社の事業紹介、サステナビリティに対する取組みのほか、トピックスやIR情報も随時開示しています。
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

URL: <https://www.chino.co.jp/>



» Appendix

CHINO

1) 財務データ	P62
2) 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応	P64
3) 中期経営計画	P66
4) その他	P69



連結貸借対照表

- 資産 棚卸資産が増加した一方で売上債権が減少し、前期末比▲583百万円
- 負債 前受金の減少等により流動負債は▲786百万円、長期借入金の減少等により固定負債は▲263百万円となり、負債合計では前期末比▲1,050百万円
- 純資産 中間純利益の増加等により株主資本が増加し、前期末比+466百万円

(百万円)

科目	2024年3月末	2024年9月末	増減
流動資産	26,050	25,692	▲ 358
現預金	7,305	7,424	118
売上債権	8,738	7,187	▲ 1,551
棚卸資産	9,707	10,805	1,097
その他	298	275	▲ 23
固定資産	10,480	10,255	▲ 225
有形固定資産	6,159	6,082	▲ 77
無形固定資産	297	275	▲ 21
投資その他の資産	4,023	3,897	▲ 126
資産合計	36,530	35,947	▲ 583

科目	2024年3月末	2024年9月末	増減
流動負債	9,317	8,530	▲ 786
仕入債務	4,618	4,643	25
短期借入金	1,581	1,618	36
その他	3,116	2,268	▲ 848
固定負債	4,021	3,758	▲ 263
長期借入金	1,443	1,206	▲ 236
その他	2,578	2,551	▲ 26
純資産	23,191	23,658	466
株主資本	19,654	19,976	322
その他の包括利益累計額	606	678	72
非支配株主持分	2,931	3,003	72
負債純資産合計	36,530	35,947	▲ 583

※自己資本比率は、2024年3月末 55.5%から2024年9月末 57.5%へと2.0ポイント上昇

キャッシュ・フロー

- 営業CF：中間純利益・減価償却費の計上等により+10.4億円(前年同期：▲3.9億円)
- 投資CF：固定資産取得▲4.1億円等により▲3.7億円(前年同期：+2.7億円)
以上の結果、フリーCFは+6.6億円(前年同期：▲1.2億円)
- 財務CF：配当金▲3.3億円、借入金の返済▲1.9億円により▲6.7億円(前年同期：▲8.0億円)

(百万円)

区 分	FY2023 2Q累計	FY2024 2Q累計	増減額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	▲398	1,045	1,443
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	271	▲379	▲650
フリー・キャッシュ・フロー (I + II)	▲126	665	792
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲805	▲673	131
IV. 現金・現金同等物の換算差額	59	103	43
現金・現金同等物増減	▲873	95	968

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応①

取組み方針

1. 成長戦略

1) 中期経営計画の目標達成への取組み

- ① 成長分野のさらなる開拓・拡大
- ② コア事業の高度化と価値創造
- ③ 海外事業の基盤強化と拡大
- ④ 経営基盤の強靱化

2. 財務・資本戦略

1) 株主還元の充実

- 連結配当性向（2026年度）の目標を40%とし、持続的な利益成長を通じた増配を実現する

2) 政策保有株式の縮減（2021年度以降、順次実行）

3. I R 活動の充実

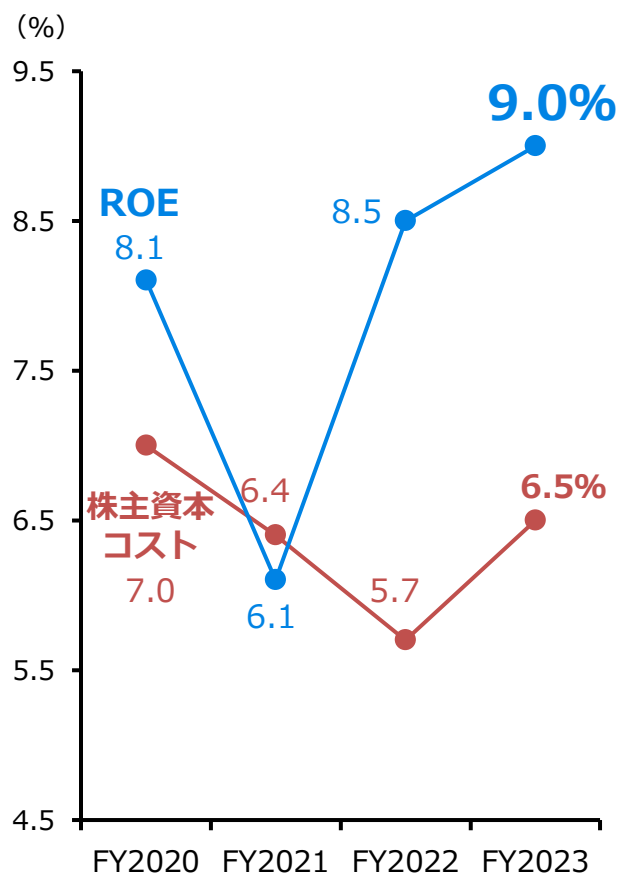
- 1) 個別 I R ミーティングの機会拡充
- 2) IR情報/非財務情報（サステナビリティ情報等）発信の充実

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応②

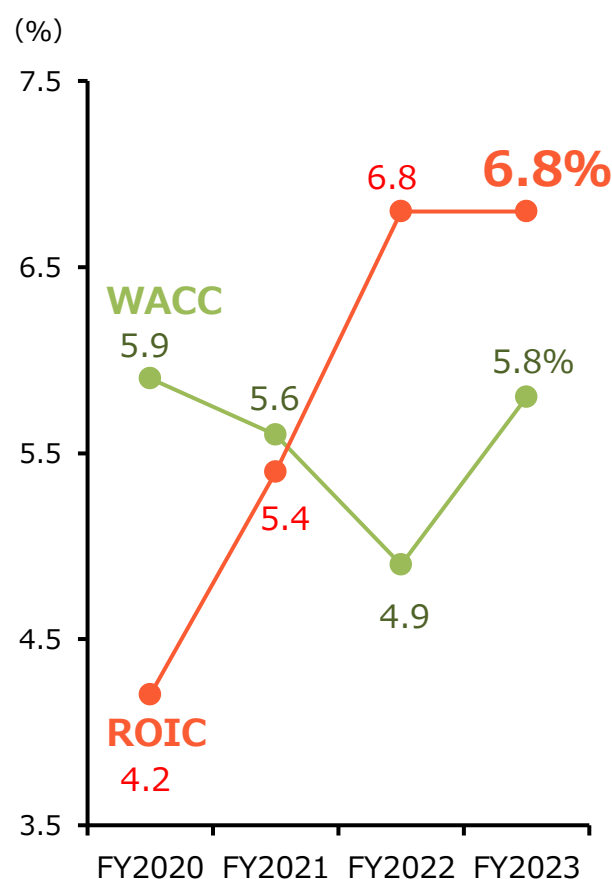
2023年度の実績

<資本収益性・資本コスト>

■ ROE・株主資本コスト

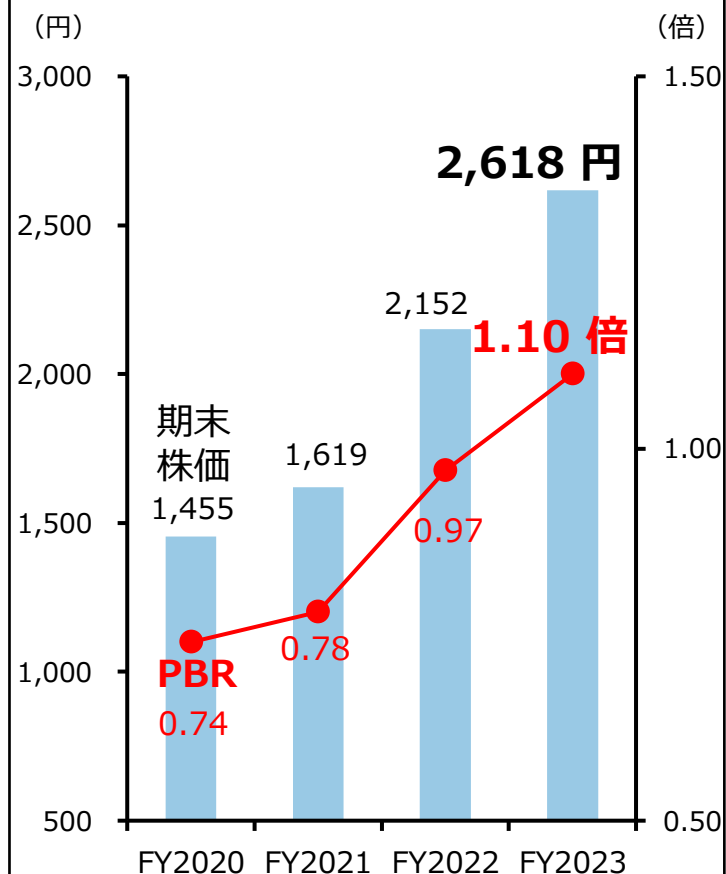


■ ROIC・WACC



<市場評価>

■ 株価・PBR



中期経営計画（数値目標（KGI））

2026年度KGI（連結）

■ 売上高	300億円
■ 営業利益	27億円
営業利益率	9%
■ 海外売上高	70億円
■ ROE	10%
■ ROA(営業利益)	8%

企業価値向上
持続的成長

2026
創立90周年

Phase 2
成長の加速
2024年度～2026年度

2023
Phase 1

FY2020 ● 成長の基礎固め
2021年度～2023年度

中期経営計画（戦略の全体像）

持続的な成長軌道の構築 + 中長期的な企業価値の向上

4つの基本戦略

1 Solution

成長分野のさらなる開拓・拡大

新たな成長分野に向けて、グループシナジーを創出し
特長あるソリューションの開発と提供を加速させる

2 Integration

コア事業の高度化と価値創造

独自技術とサービスとのインテグレーションによりコア事業を高度化し、
お客様と新しい価値を創造する

3 Relationship

海外事業の基盤強化と拡大

国内外事業のリレーションシップ強化と地域別戦略の展開により
グループ収益力を高める

4 Innovation & Speed

経営基盤の強靱化

企業価値の創造とイノベーション、スピード経営を支える
人財・組織・ICT・ガバナンス・財務体質の強靱化を進める

サステナビリティ経営の推進

ESG課題への対応

SDGsへの貢献

中期経営計画 の進捗状況（2023年度）

● 中期経営計画の進捗状況

単位：百万円

		中期経営計画NX26				
		Phase1				
項 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2026年度 KGI
	実績	実績	実績	実績	前年比(%)	
売上高	21,080	21,908	23,793	27,425	15.3	30,000
営業利益	1,136	1,499	2,018	2,173	7.7	2,700
営業利益率(%)	5.4	6.8	8.5	7.9	▲0.6P	9.0
海外売上高	3,518	4,077	4,852	5,765	18.8	7,000
ROE(%)	8.1	6.1	8.5	9.0	0.5P	10.0
ROA(%) <営業利益>	4.0	4.8	6.0	6.0	—	8.0

当社製品のシェア（2023年国内販売ベース＜単体＞）

製品区分	国内市場シェア			
	販売金額		販売数量	
記録計（※） 	15.1%	3位	22.9%	3位
調節計 	4.8%	5位	3.4%	6位
電力調整器 	19.9%	2位	10.1%	4位

※温度以外（湿度、圧力、流量）のセンサから計測データを記録するものを含む

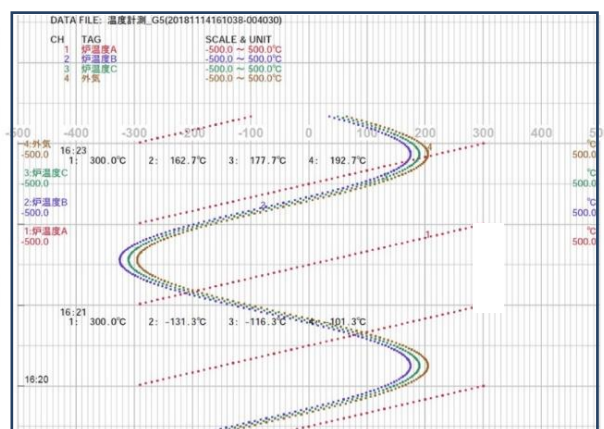
出所：2024年版 注目メカトロニクスパーツ市場実態総調査（富士経済）

航空機・自動車関連（金属熱処理温度管理）

航空機部品や自動車部品の熱処理工程（金属を高温で加工する工程）においては、**高度な規格への対応**が要求されており、当社はその対応を支援しています。



記録計

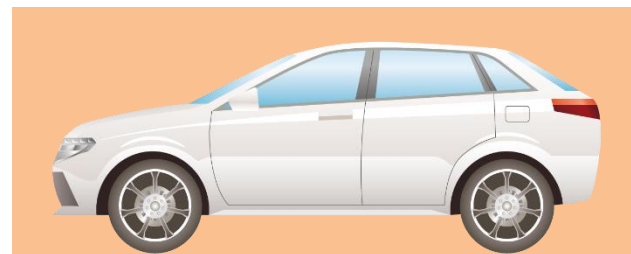


AMS2750

航空宇宙産業における特殊工程（溶接・熱処理など）の規格。

IATF 16949/CQI-9

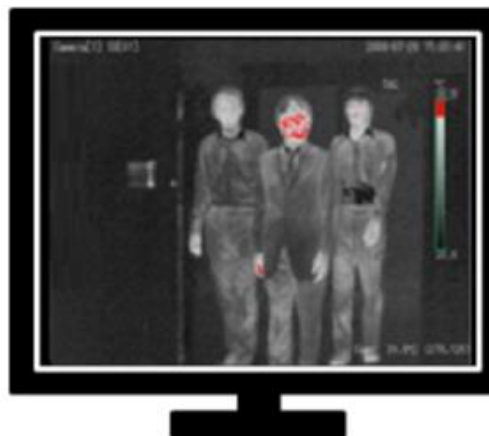
自動車部品メーカーに対する熱処理工程評価の規格。



: 当社製品

コロナ・インフルエンザ関連（発熱者の早期発見）

当社の熱画像（サーモグラフィ）カメラが**発熱者の早期発見**に役立っています。



Thermoview



セキュリティゲートとの連動



警備室



熱中症関連（熱中症の予防監視）

暑さ指数WBGT監視システムでは、測定した「気温・相対湿度・黒球温度」よりWBGT基準値（※）を算出して、**熱中症の予防監視**を行うことができます。

※WBGT基準値：暑熱環境による熱ストレスの評価を行う暑さ指数

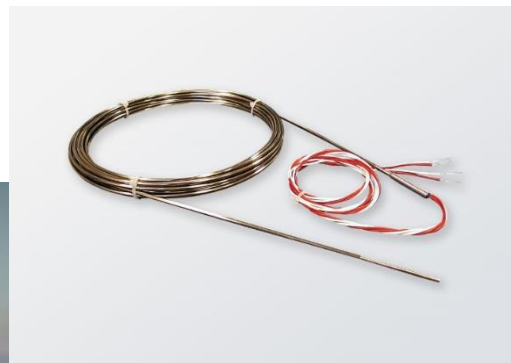


2024年8月4日に
TOKYO MXテレビの「ええじゃない課Biz」にて紹介されました。



水素関連（水素を「運ぶ」）

水素の輸送にはマイナス253℃以下で液化した状態を保つことが必要で、当社グループ（明陽電機株）のセンサ技術が液体水素の正確な温度管理に貢献しています。



液体水素用測温抵抗体

概要

- ・液体水素輸送船向け超低温温度センサー
- ・長時間大きな揺れが続く海上でも、-253℃の温度を正確に計測
- ・海外から水素を日本に運搬する船に搭載

特長

- ・LH2タンク内の液体水素（-253℃）に直接接触して温度測定可能
- ・貼り付けタイプ製品（固定しにくい場所に使用）

 : 明陽電機(株)製品

当社の取組み（生物多様性の保全活動）

2011年に環境問題に取り組むシンボルとして、また地域社会とのコミュニケーション拠点として群馬県内の里山を再現した「チノービオトープフォレスト」を整備致しました。

希少種の生息域外保全をしたり、環境学習・体験学習を開催したりして、地域の環境活動に貢献しております。

チノービオトープフォレストの概要

面積：約10,000m²

所在地：群馬県藤岡市

（チノー藤岡事業所内）

竣工：2011年3月



藤岡市の天然記念物 ヤリタナゴ
（ビオトープ内にて保護中）

<参考動画>

<https://youtu.be/GL6IMzNtKRY?si=esUQtyBaym6kd1Ka>



ビオトープが「生物多様性保全活動賞」受賞

「チノービオトープフォレスト」での環境学習等の活動が評価され、2022年11月に公益社団法人環境生活文化機構より「**持続可能な社会づくり活動表彰（生物多様性保全活動賞）**」を受賞しました。

＜取組み＞

- ・ 地元小学校と連携した環境学習への積極的な取組み
- ・ 四季を通じた環境学習や当社社員が地元の小学校へ出向いて開催した出前授業などの活動

＜主な受賞履歴＞

2013年11月	緑化優良工場等日本緑化センター会長賞
2014年 8月	関東水と緑のネットワーク拠点百選
2016年10月	緑化優良工場等関東経済産業局長賞
2018年 9月	環境教育等における体験の機会の場
2019年10月	全国みどりの工場大賞経済産業大臣賞
2022年11月	生物多様性保全活動賞



健康優良企業「金」の認定

- 当社健康企業宣言を行い、健康経営の取組み項目の目標を定め、2022年12月に従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業として健康企業宣言東京推進協議会より「金」の認定(期間：2023年1月～12月)を受けました。
- 2023年12月においても引き続き「金」の認定(期間：2023年1月～12月)を受けました。

＜健康経営の取組み＞

- ・ 従業員の健康管理に関する取組み
- ・ 職場環境の改善
- ・ 健康増進活動の実施
- ・ 健康経営に関する啓発活動の継続



今後も健康経営の取組みを通じて、従業員一人ひとりが活力に満ち溢れて能力を発揮し、充実した生活を送れる環境を構築して、個人の幸福、会社の発展、社会への貢献を進めてまいります。

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれています。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO